

練馬区では、支援物資（ブルーシート等）と第一次分義援金を送ると共に、職員5名（平成19年8月17日現在）を派遣しました。

19年8月  
練馬区防災課作成  
禁無断転載

## 避難所ではいろいろな情報が掲示されていました

<p>住宅を解体する際に置き場に困ってしまう家財の一時保管を行う旨の案内。</p>	<p>罹災証明発行、医療機関受診の案内。情報は入口付近の掲示が多いです。</p>	<p>お風呂の時間割、血圧計、つめきりを貸し出す旨の案内。体育館入口にて。</p>

## 若い力とボランティアが大活躍していました

<p>地域の中高生が“飛入り”でボランティア活動に従事。“飛入り”の活動は疑問が残りますが、彼らのご年配の方に元気を与えていました。ボランティアと行政のコーディネートが課題が残りました。</p>	<p>高校ラグビー部のボランティア。単純な作業も笑顔で楽しく作業をしているその姿は従事する職員にも元気を与えていました。衛生面に気を遣い、ビニール手袋とマスクをして作業をしていました。</p>	<p>新潟市からのボランティアの方。夫婦できたとのこと。ボランティアへの関心が高まる中で、従事する側、依頼する側がよい関係を築けることが大切であると思いました。</p>

## 避難所の様子と避難所の食事

<p>夏場ということで、トイレの後の消毒や、支援物資を手元のため込まないようにアナウンスにより、特に衛生面に気を遣っていました。</p>	<p>エコノミークラス症候群予防のために、保健師によるラジオ体操や医療チームによる診断が行われていました。ごみも毎日収集していました。</p>	

## 震災に備えて大切だと感じたこと

- ①「家の耐震、家具の転倒防止を行えば、被害に遭う確率は下がる」→家の耐震について考えましょう。
- ②「知っているのと知らないのとでは大違い」→日頃から情報収集のアンテナを張っておきましょう。